



藤沢市立明治中学校 学校だより

2023年1月24日

# 明中通信 No.9

発行 校長 中尾安伸

＜学校教育目標＞ ひと・もの・ことと豊かに関わりながら たくましく生きる生徒の育成

学校ホームページ <http://www.fujisawa-kng.ed.jp/jmeij/>

**大寒(だいかん)** 二十四節気の一(1年を24等分に分けた1つの節気)。太陽の黄経が300度に達した時をいい、現行の太陽暦で1月20日頃に当たる。年で最も寒い季節。

＜令和4年度 Stop いじめ！中学生の集い in ふじさわ 12/26meet 会議で集結＞

藤沢市内の中学校の生徒会本部役員が年に一度「いじめ」について本気で討論。

みんなの仲間に「本気」がある。

**Meiji  
REVOLUTION**

～自分から意見を発信しより良い学校へ～

＜明中学生会スローガン＞

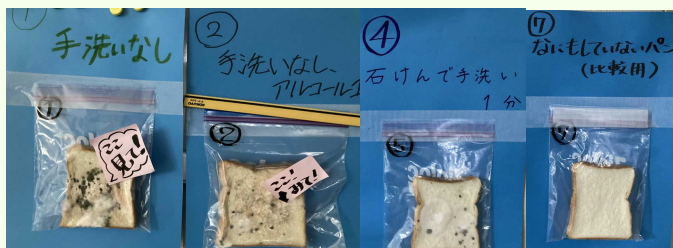
岩本教育長のお言葉

アッパレ2人劇

会長 明中紹介お見事！

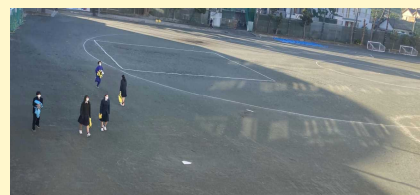
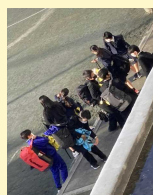


＜1/10 保健委員会より 「手洗い」の重要性を視覚化アピール＞手洗いしようね



こんなに違うんですね。⑦の無菌 2週間平気にも驚き！

＜1/20 サバイバル・アイランド～しま鬼～＞1年体育委員会主催＞ 昼休みを楽しめ！  
〔1年体育委員朝早くから準備ありがとう〕



体育委員と各学年から2名の先生がビブスを着て鬼役。4つの島があり、その島の上にいるときは鬼は手を出せない。しかし、その島は突然進行役により無くなってしまう。島がなくなるまでに他の島に移動しなくてはならない。「エッ！突然2つの島が同時？」「今回も楽しかったね」



逃げロー



逃げ切れるか



どうかなあ



さすがの宗先生も御用

1年生のハッ岳野外体験教室が1月10日から2泊3日で実施することができました。3日間天候にも恵まれました。前日の夜に雪が降りパウダースノー状態。万全な状態でハッ岳が迎え入れてくれました。大自然の中、こちらよりも青く澄んだ空、夜は満点の星空。辻堂では体験できないような極寒も新たな経験となったのではないのでしょうか。2日目のスタンプも、大いに盛り上がり楽しんだと聞いています。「ありがとうございます。大自然ハッ岳様。」

<ハッ岳前日準備登校 1/9> 年明け初めての顔合わせ 学年集会



学年集会で確認



実行委員が中心に



同行した若き先生

クラスでスタンプ練習 楽しそう!

<ハッ岳体験教室 1/10～1/12>



消毒して乗車



体験教室での食事



## く伝えたいこと「ろばを売りに行く親子」>

ろばを飼っていた父親と息子が、そのろばを売りに行くため、市場へ出かけます。

2人でろばを引いて歩いていると、それを見た人が「せっかくろばを連れてきているのに、乗りもせずに歩いているなんてもったいないことだ」と言います。なるほどと思い、父親は息子をろばに乗せます。



しばらく行くと別の人がこれを見て、



「元気な若者が楽をして親を歩かせるなんて親不孝な若者だ」と言うので、なるほどと、今度は父親がろばにまたがり、息子が引いて歩きました。

また別の者が「自分だけ楽をして子供を歩かせるとは、悪い親だ。いっしょにろばに乗ればいいだろう」と言いました。



それはそうだと、2人でろばに乗ります。

するとまた別の者が「2人でろばに乗るなんてろばがかわいそうだ」と言いました。

それではと、父親と息子は、こうすればろばが楽になるだろうと、ちょうど 狩りの獲物を運ぶように



1本の棒にろばの両足をくくりつけて吊り上げ、2人で担いで歩きます。

しかし、不自然な姿勢を嫌がったろばが暴れました。

不運にもそこは橋の上。暴れたろばは川に落ちて流されてしまいました。

この寓話の教訓は 「人の意見ばかり聞いて、それに左右されて自らの識別や判断、自らが他者の考え方を実行に移す前の思索のない行動を取れば、時としてひどい目に遭う。」です。

他人にアドバイスを求めることや意見を受け入れることは悪くありませんが、結局は、どんな人生を送るのか決めるのは最終的には自分であることに間違いはありません。

他人任せになったとしても、それも自分で選んだことになります。その証拠に、もしその結果が失敗だったとしたら、その責任はきっと自分が背負うことなるでしょう。また、たとえ失敗をしなくても自分が心から満足できるようにならないのではないのでしょうか。

「すべての人を納得させるのは難しい」「誰一人置き去りにしない社会をつくるのは難しい」この課題にどう向き合うか。力か 圧か 話し合いか 合意か 関わらないか 諦めるか。

この寓話で私がに感じたことが他に2つあります。

### 1つ目は

「何かという」と否定したり、考えを押しつけたりする人が世の中にいるということです。

また、良かれと思って言ってくれている言葉と見下されているような言葉の違いも不思議と分かる気がするんですね。この寓話のすれ違った人たちはどちらでしょうか。

### 2つ目は

視点を変え、すれ違う人たちが否定ではなく肯定的な場合はこの寓話は大きく変わります。

そもそもその一時、一場面しか見ていない人たちが勝手に言っていることです。

例えばもし、親子が出会った2人目の人が

「元気な若者が楽をして親を歩かせるなんて親不孝な若者だ。」と言っていますが、同じ状況で、「なんて子ども思いの優しいお父さんなんだ。」と言っていたら、どうでしょう？

4人目の人が

「2人でろばに乗るなんてろばがかわいそうだ。」と言っていますが、

「2人も人間を乗せて歩くことができるろばはなんて優秀なろばなんだ。」っていう見方も？

ろばがかわいそうですけれどね。結局、物事の良い悪いの判断は人それぞれで、価値観もみんな違うけれど、「物事をどういう視点で見るか」または「その状況によってどう自分が判断するか」が大切だと思うんです。

情報過多の時代。最近使われる「リテラシー(今を生きるために必要な素養)」は一つとして、他人の考えを受け入れつつ、自分で考え、自分で判断することが求められていると思います。

< 3年生面接練習 1/17 >



面接練習を廊下で待つ



打ち合わせも念入りに



本番と同じように



姿勢 座り方 視線も 素晴らしい

【面接でよく聞かれること】

- ①志望理由 ②高校(進学先)で頑張りたいこと
- ③中学校で努力したこと (1)勉強編 (2)勉強以外編
- ④自分の長所 ⑤将来のことや現在夢中になっていること

〔「①志望理由」は大事にすることをおすすめ〕

＊ネットや本、学校に配付されているパンフレット等にもう一度目を通しておきましょう。希望校の説明会に行った人はそのときにもらったプリント等を見直しておくとういと思います。

くわがまちの学校歴史紹介展 明治市民センター 2階 1/11～3/31 >



明治小 八松小 羽鳥小 羽鳥中 そして 明治中 各学校の歴史が紹介されています。

< 市民マラソンボランティア 女子バレーボール部と陸上競技部 >

1/22に湘南藤沢シティマラソンが行われました。そのお手伝いを明治中の女子バレーボール部と陸上競技部がしてくれました。その時の様子です。お手伝いありがとう。みんなのおかげで気持ちよく走れた人が増えました。



< 保護者のみなさまへ >



保護者のみなさま。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

未だに新型コロナウイルス感染症の対策を。そして今年度はインフルエンザも同時に流行してしまい、市内で学年閉鎖や学級閉鎖の話を耳にしていたところ、本校でも先週末から学級閉鎖を行っているクラスがでております。世の中は、にぎやかな雰囲気がもどってきているようにも思いますが、今も医療従事者の方々は逼迫しておりまだまだ大きな問題となっています。

学校は生徒の安心安全を守りながら「できる限りの学習の機会」を考えて参ります。今年も変わらぬご支援とご協力のほどお願いいたします。